



学校だより

# かりがね

富士市立岩松中学校

令和6年1月23日



学校教育目標「いつでも自分から動く子」「わたしもあなたも大事にする子」「学びを楽しみ、表現する子」「つながりながら成長する子」

## ご相談ください

梅の花がほころび始める季節となりました。新しい年の初めから心の痛むニュースが重なり、不安な気持ちを抱えながらの冬休み明けとなりました。そのような中ですが生徒のみなさんは、学力調査（実力テスト）や通常の学校生活、3年生は面接練習など全力で取り組み、校内には活気が見られるようになってきました。



元気に振舞ってはいるものの、中学校3年間は何事もなく過ごしていても心が大きく揺れ動き、悩み多き多感な時期です。冬休みが明けすぐには、富士市教育委員会からスクールカウンセラーを緊急配置していただいたり、下校時刻を遅らせ教育相談を行ったりすることで、少しでも生徒のみなさんの不安感をキャッチしたり、解消に近付けたりするようにしてまいりました。少ない時間での相談で解消されるものではないと思います。全職員で、生徒のみなさんに寄り添い、思いや声に耳を傾けられるよう努力していきます。それでも気付かない点や不十分なことがありましたら、是非遠慮なく学校にお知らせください。なお、毎週木曜日の深谷カウンセラーだけでなく、市から相談員を増員していただきカウンセリングができるように準備しております。生徒だけでなく、保護者の方のご相談も受け付けておりますので事前にご連絡ください。（61-0931 教頭または生徒指導担当にお電話ください）

## 学校評価アンケート ご協力ありがとうございました

数値や考察等の詳細については、近日中に岩松中学校のホームページに掲載する予定です。保護者の皆様から複数寄せられたご意見について、お伝えしたいと思います。

### ご要望:

新しくできた道の横断歩道に信号機をつけてほしいと、市に学校の方からも訴えてほしい。地域でも署名活動はしているが、早急に対応してほしい。

### 学校より:

昨年度までの段階で、自治会の方々と富士警察署にお願いをしてあり、信号設置は難しいとの回答をいただいていた。西側の信号から距離が近すぎるために、学校北側の横断歩道に信号をつけることは難しいそうです。

しかし、このままでは危険なため、11月29日に校長が富士市の道路整備課職員の方と、富士警察署へと信号機設置を嘆願してきました。この件に関する回答は早く3月とのことでした。

現在はまだ、通行する車両の数もそれほど多くはないのですが、3月になり橋開通以降は、交通量の増加が見込まれます。学校では、登下校の際に横断歩道での交通指導を強化し、生徒が安全に渡るよう見守っていきたいと考えています。また、警察署の回答を待つと同時に、自治会や市役所とも相談をしていきます。

**ご要望:**

洋式トイレが各階に1カ所(男子)は少なすぎる。便座が冷たいことも、大人であっても辛いことなので、改善してほしい。

**学校より:**

今年度、本校舎1階に多目的トイレが1カ所設置されました。便座も温かくウォシュレットも付いていて、誰でも使用できるトイレです。トイレの改修や設置については、市役所の教育総務課が市内の学校を全て調査したうえで判断をして工事を発注してくれます。まだ、岩松中学校トイレ改修の順番には到達しないとの回答をいただいています。



今回の多目的トイレは、本校には体育館にしか多目的トイレがなかったこと、距離が離れているので日常的に利用できないこと、改修ではなく新規設置が可能な場所を確保できたことが実現につながった理由のようです。

保護者の方々からのご要望も多数届いているということ、教育総務課には強く伝えていきます。

**ご要望:**

コロナが5類になったので、登校時刻を元に戻してほしい。親が見送れる時間帯に登校すべきである。また、体力づくりのために、朝のサーキットなども行ってほしい。

**学校より:**

お子様が元気に出掛けられるか見届けたいのは当然のことなので、おっしゃる通りだと思います。市内の小中学校では、来年度以降の登校時刻(昇降口開錠時刻)が遅くなる傾向にあり、8時開錠の学校も増えてきています。

授業開始前の時間を有効に使いたいことから、朝7時30分頃から部活動の朝練習をしたり、委員会で集まって活動をしたりしてきました。私たち教員は、「生徒のために!」と思うと、際限なく活動を入れてしまいます。しかし、もちろん全員ではありませんが、昨今の生徒たちの生活を見ると、朝から帰りまでの8時間30分の中で休みなく活動が入ってしまうと、心も体も疲弊してしまい、翌日の元気が蓄えられないこともあるようです。特に、コロナ禍を経て人間関係に強い不安を抱いていることも多く、気持ちが常に張りつめているようです。

これからの学校生活では、ゆとりを持ちながら限られた時間の中で、有益な活動を教員と生徒が話し合ったうえで行っていけるよう目指していきたいと考えています。約3年間続いたコロナ禍の弊害を少しずつ和らげながら教育活動を進めていきたいと思っています。

ご不便やご心配をおかけすることもあります。ご理解いただけると幸いです。また、登校にご不安がある場合は個別にご相談ください。ご家族とご本人が安心できる方法を考えたいと思います。

気付かない点、至らない点もあるかと思いますが、遠慮なくお知らせください。生徒のみなさん、保護者をはじめご家族の方々が笑顔で過ごせるよう、精一杯取り組んでまいります。